

## 芸術的な高校入試第 56 回

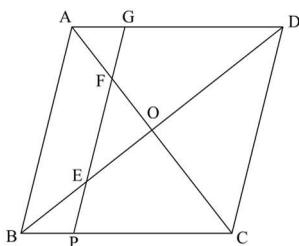
美しさ：★★★★★★

難易度：★★★★★★

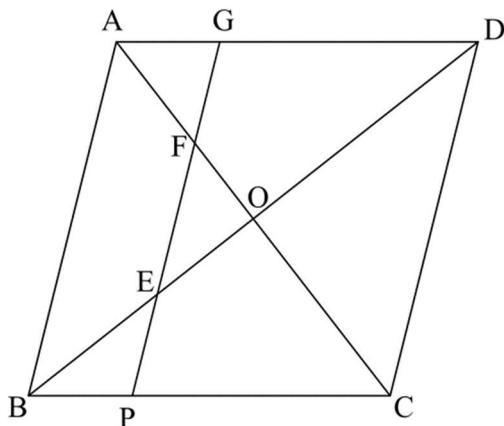
出典：2021 年 大分県

下の図のように、ひし形  $ABCD$  があり、対角線  $BD$  と対角線  $AC$  の交点を  $O$  とする。また、辺  $BC$  上に点  $P$  があり、点  $P$  を通り辺  $AB$  に平行な直線と、対角線  $BD$ , 対角線  $AC$ , 辺  $AD$  との交点をそれぞれ  $E$ ,  $F$ ,  $G$  とする。ただし、点  $P$  は、頂点  $B$  または頂点  $C$  と一致しない。

次の (1), (2) の問いに答えなさい。



- (1)  $\triangle ABC \sim \triangle FPC$  であることを証明しなさい。
- (2)  $AB = 5 \text{ cm}$ ,  $AC = 6 \text{ cm}$  とする。また、 $\triangle BPE$  の面積と  $\triangle EOF$  の面積が等しくなるように点  $P$  をとる。次の①, ②の問いに答えなさい。
  - ① 線分  $BO$  の長さを求めなさい。
  - ②  $\triangle AFG$  の面積を求めなさい。



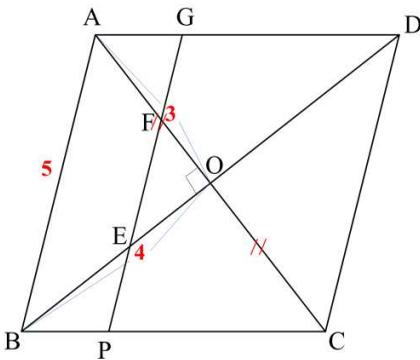


【解答例】

(1) (3点) (完答率 36.1%)

$\triangle ABC$  と  $\triangle FPC$  において、  
 $AB \parallel GP$  より、平行線の同位角は等しいから、  
 $\angle ABC = \angle FPC$     $\angle BAC = \angle PFC$   
2組の角がそれぞれ等しいので、 $\triangle ABC \sim \triangle FPC$

(2) ① (2点) (正答率 46.9%)



ひし形なので対角線は垂直に交わる。  
また、ひし形は平行四辺形でもある  
ので、対角線はそれぞれの中点で交  
わる。

よって、 $AO = 3$  cm,  $AB = 5$  cm とな  
るから、三平方の定理より、

$$BO = \sqrt{25 - 9} = 4 \text{ cm}$$

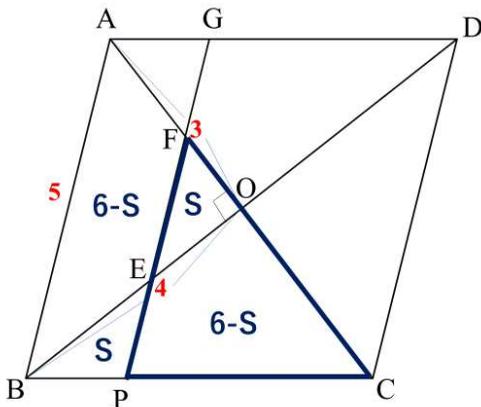
【コメント】

毎年平面図形関連でとんでもない難問を出してくる大分県ですが、今年  
度の問題は、2020、2019年度に比べれば計算は楽です（簡単とは言ってい  
ない）。(1) は教科書レベルの問題ですが、最後の大問なのと、証明自体書  
くの諦めている生徒が多いでしょう。(2) は良い問題です。ひし形の性質  
「対角線がそれぞれ中点で垂直に交わる」を知っているか、三平方の定理  
を使えるかを聞いています。教科書や定期テストをしっかり頑張っている  
子は難なく解けますが、受験に効率を求めすぎるとたぶん解けない。(3)  
は、昨年一昨年に比べると計算は簡単ですが「 $\triangle BPE = \triangle EOF$ 」という条件  
を上手く使えるかで明暗が分かります。何となく平行な線たくさん出てく  
るので、等積変形したくなりますが、本当、素直に使えるかどうか。素直  
に覚えて、 $\triangle CPF = 6$  と気づけても、相似の計算地味に計算メンドイです。  
中学生には苦しい。でも条件の使い方など、1度は解きたい難問。

(2) ② (3点) (正答率 0.1%)

**Point1**  $\triangle BPE = \triangle EOF$  という条件を素直に使う

**Point2** 可能な限り補助線は引かない



$\triangle ABO$  と  $\triangle CBO$  の面積は  $6 \text{ cm}^2$  なので、 $\triangle BPE = \triangle EOF = S$  とすると、四角形  $OEPC$  は  $6 - S$ 、よって、 $\triangle CPF$  の面積は、 $6 - S + S = 6 \text{ cm}^2$  となる。

$\triangle CPF \sim \triangle CBA$  で、面積比は  $1 : 2$  となるから (※)、  
 $PF^2 : BA^2 = 1 : 2$  より、  
 $PF = \frac{5}{\sqrt{2}} \text{ cm}$  となる。

すると、四角形  $ABPG$  は平行四辺形なので、 $PG = 5 \text{ cm}$  だから、

$GF = 5 - \frac{5}{\sqrt{2}}$   $\triangle CPF \sim \triangle AGF$  だから、面積比は、

$$\triangle CPF : \triangle AGF = \left( \frac{5}{\sqrt{2}} \right)^2 : \left( 5 - \frac{5}{\sqrt{2}} \right)^2 = 1^2 : (\sqrt{2} - 1)^2 = 1 : (3 - \sqrt{2})$$

$$\triangle AGF = 6 \times (3 - \sqrt{2}) = \mathbf{18 - 12\sqrt{2} \text{ cm}^2}$$
 大体  $1.029 \text{ cm}^2$

(追記※)  $CP^2 : CA^2 = 1 : 2$  より、 $CP : CA = 1 : \sqrt{2}$ 、よって、  
 $CP : PB = 1 : (\sqrt{2} - 1)$  となる。 **$PB = AG$  なので**、 $\triangle CPF$  と  $\triangle AGF$  相似比は  $1 : (\sqrt{2} - 1)$  となるから、面積比は  $1^2 : (\sqrt{2} - 1)^2 = 1 : (3 - \sqrt{2})$

長さを出さなくても相似比が分かる！ 気づけば楽。